

死ぬ日まで空を仰ぎ 一点の恥辱なきことを——（「序詩」より）

植民地支配下の朝鮮でハンゲルで詩を書き、自らの詩精神をつらぬいた尹東柱。暗い時代のただなかで「民族としても、人間としても、生命をないがしろにし、破壊しようとする巨悪に呻吟しながら」「詩によって真に生きようとした」（本書より）詩人は、日本留学中に治安維持法違反で逮捕され、戦争終結半年前に「謎の獄死」をとげた。今日では日本でも広く愛される韓国の国民的詩人の足跡を辿り、いくつかの知られざる事実を明らかにしつつ、その人、その文学の核心に迫る。

多胡吉郎 著



いのち

ユン・ドンジュ

生命の詩人・尹東柱

『空と風と星と詩』誕生の秘蹟



四六判並製294頁
定価1,900円＋税

尹東柱 生誕100年 記念出版

◎著者はNHKディレクター時代の1995年、「NHKスペシャル」で尹東柱のドキュメンタリー番組『空と風と星と詩——尹東柱・日本統治下の青春と死』を手がけ、以来20年余にわたり独自に尹東柱の調査・研究を重ねてきた。本書では主に日本との関わりを軸に尹東柱の足跡を追い、新たな視点からの作品解釈も試みつつ、その詩精神に改めて光を当てる。

著者プロフィール

多胡吉郎（たごきちろう）
作家。1956年東京生まれ。1980年、NHKに入局。ディレクター、プロデューサーとして多くの番組を手がける。1995年、日韓共同制作によるNHKスペシャル「空と風と星と詩——尹東柱・日本統治下の青春と死」を制作。2002年、ロンドン勤務を最後に独立、英国に留まり文筆の道に入る。2009年、日本に帰国。
【著書】『吾輩はロンドンである』（文藝春秋）、『リリー、モーツァルトを弾いて下さい』（河出書房新社）、『韓の国の家族』（淡交社）、『わたしの歌を、あなたに 柳兼子 絶唱の朝鮮』（河出書房新社）他がある。

尹東柱 ユン・ドンジュ：1917年生まれ。日本の植民地期に母国語のハンゲルで詩を書き、すぐれた作品を残す。日本留学中の1943年、治安維持法違反で逮捕、福岡刑務所に囚われ、45年2月に獄死。時局から生前は一冊の詩集も出せなかったが、関係者に守りぬかれた詩稿は戦後出版され、韓国の国民的詩人に。いまや日本でも広く愛されている。

尹東柱は、暗黒の時代を生きたもつとも純粋な魂であった。（あとがきより）

★昨年その生涯が韓国で映画化（『ドンジュ』）され、観客動員百万人を超す大ヒットに。（映画は本書の内容とは無関係です）

ご注文書

*書店様 取次番線・コード印

新刊	いのち 生命の詩人・尹東柱——『空と風と星と詩』誕生の秘蹟 多胡吉郎 著 ISBN978-4-87714-469-2 定価1,900円＋税	(新刊委託) 冊
重版中	【好評重版中】1月30日出来予定。日本の見えざるレイシズムを可視化する書。定価3,000円＋税 梁英聖著 日本型ヘイトスピーチとは何か——社会を破壊するレイシズムの登場	〈注文〉 冊
既刊	これからの法規制議論のために。歴史家・憲法学者・弁護士による熱く精緻な議論。定価1,700円＋税 LAZAK編/木村草太・板垣竜太他著 ヘイトスピーチはどこまで規制できるか	〈注文〉 冊
既刊	ヘイトスピーチ被害「当事者」の声をありのままにつづった貴重な証言。 李信恵著 #鶴橋安寧——アンチ・ヘイト・クロニクル 定価1,700円＋税	〈注文〉 冊
既刊	「地方」から日本社会の閉塞状況を突き破る新たな地域づくりの実践例。定価1,500円＋税 生活クラブ連合会「生活と自治」編集委員会編著 一緒に生きてく地域をつくる。	〈注文〉 冊
既刊	ロマの起源からロマへのヘイトスピーチ、ヘイトクライム頻発化による「再難民化」までを追う 金子マーティン著 ロマ「ジプシー」と呼ばないで 定価2,100円＋税	〈注文〉 冊
既刊	ベルリンの労働者の息子エデと「ジプシー」の少女ウンクの友情と冒険。やっぱり大切なのは連帯！ アレクス・ウェディング著 エデとウンク——1930年ベルリンの物語 定価1,800円＋税	〈注文〉 冊

※弊社は返品
フリー入帖です。
ぜひ補充注文を
お願いします！

影書房

http://www.kageshobo.com
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-3-15 TEL:03-6902-2645

FAX:03-6902-2646

□ FAXご不要の際は、恐れ入りますが右へ貴店FAX番号をご記入の上、ご返送下さい。【貴店FAX番号：

】